

# キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

2021年 4月 5日

1級受検番号 NO 05F2620106

氏名 E Y (兵庫県在住)

<b>■1級技能士を目指したきっかけ</b>
キャリアコンサルタントとしての専門性を高めたいと思っていたところ、複数の1級取得者とお話する機会があり、その方たちの知見や振る舞いに刺激を受け、自らも目指してみようと思いました。また、キャリア理論をより掘り下げて学びたいとも思っていたので、学科試験準備をその機会に充てようと考え受験を決意しました。
<b>■当初の勉強法</b>
難関資格であることを意識していましたので、信頼のおける機関で学ぼうと考えており、実績のある1級技能士の会「キャリア塾」に参加しました。当初より、我流に陥って遠回りすることを懸念し、指導いただく内容に集中し取り組むことを大事にしました。「キャリア塾」の日程だけで無く、単発で開催される講座にも積極的に参加しスキルを高めていきました。
<b>■合格のきっかけ</b>
初回受検でしたので、指導いただくことに忠実に取り組んだことが良かったと思います。また他の受講者からの学びも含めて素直な気持ちで吸収することに努めました。1年の学習を通じて、自分の強みと弱みを把握できたことで、弱みの改善を意識した練習に多くの時間を割け、有効な準備に繋がりました。
<b>■学科試験の勉強</b>
キャリアの赤本、青本、市販の問題集など過去問の繰り返し学習に徹しました。キーワードでどうしても意味が取れない場合はインターネットや、専門書で調べ背景を理解しました。
<b>■論述試験対策</b>
キャリア塾だけでなく、単発の論述対策講座にも参加し、合格レベルの記述イメージを学び、繰り返し記述練習できたことが大変有意義でした。
<b>■面接試験対策</b>
他受講者から学ぶことも心がけ、ロープレにおいては事例相談者役、オブザーブ役での気づきも大切にしました。ロープレを積み重ねることで、二重構造での面談を頭と体で覚えていくことができたと思います。そして、面談中に上手くいかない場合でも、切り替えて口頭式問で補い、全部の時間で勝負する意識を磨いたことが本番で活かされたと思います。また、一緒に学んだ仲間と本番直前までロープレの自主勉強会を実施し力を磨けたことが大きな力になりました。
<b>■受検される方へメッセージ</b>
試験本番のことだけで言えば、「諦めず制限時間いっぱいまで粘りきること」。学科も論述も面接も、私にとってはとても難しく途中で諦めたくくなりました。しかしながら、試験最中にここからが勝負と思い直し最後の1分までベストを尽くしました。点数を振り返ると、明らかにそこでの加点がなかったら合格には達していませんでした。準備期間は自分の力量を謙虚に捉え努力を、本番では努力を自信に換え粘りきってください。